

川口市長 奥ノ木 信夫 様

2014年10月22日

ふるさと鳩ヶ谷の会 会長 山中照行

川口市坂下町2-5-6

戸塚公民館を考える会 代表 鍋嶋忠雄

川口市東川口3-8-24-202

## 新庁舎建設基本構想・基本計画の策定にあたっての要請書

私たちの会は、川口市役所新庁舎建設を、川口市の将来にとって重要な課題と考え、審議会を傍聴するとともに市長へ要望書を提出し、意見を述べてまいりました。

市民は、川口市の広大な市域のもとで、くらしと安全を守るため身近な行政を求めています。しかし、現在、進行中の新庁舎建設計画では広大な市域にもかかわらず、一極集中の市役所の形態であり、しかも、現在の市役所の2倍の規模で膨大な費用となる庁舎建設が、市民によく知らされないまま決められかねないと危惧しているところです。

そのため、近く予定されている、基本構想策定前に次の2点の実行がぜひとも必要と考え、要請いたします。

なお、検討結果をすみやかに回答するとともに、市民に公表してください。

### 記

- 1 川口市自治基本条例第19条に基づき、基本構想の策定段階で市民への情報提供と市民参加の機会をつくってください。
- 2 アンケートに示された市民の願いを実現するため、支所での窓口業務を抜本的に拡大し、鳩ヶ谷庁舎を総合支所として有効活用してください。そのことが、新庁舎の建設規模・建設費用の削減が図れるだけでなく、災害に強いまちづくり、さらに川口市北部・東部地域住民の利便性向上に資すると考えます。

## 要請内容の補足

- 1- ① 庁舎建設は市民にとって重要なことですが、市民の多くは基本構想の検討状況を知らされていません。

川口市は、自治基本条例により「市民が主人公」の理念をふまえ、下記のように義務を負っています。しかし、現状は、この義務を履行しているとはいえません。

### 川口市自治基本条例

(市長その他の執行機関の役割及び責務)

第19条 市長その他の執行機関は、市政に関する重要な事項について、説明会、懇談会、パブリック・コメント手続、アンケート調査その他の効果的な方法により、市民の意見を聴取し、市民の意思の把握に努めるとともに、当該市民の意思を行政運営に反映させるよう努めなければならない。

- ② この間、審議会で基本構想の検討を進めていますが、市民だれもが見られる市広報誌・回覧を通じて、検討内容を明らかにするとともに、基本構想策定の段階から市民の意見を反映させるべきです。

また、新庁舎に係る市民アンケート結果、審議会状況も公表されておらず、すべての市民に情報をとどけるべきです。

- 2- ① 現本庁舎と同周辺に分庁舎を合わせた延床面積は約 20,000 m<sup>2</sup>で、新庁舎は現在の2倍の 40,000 m<sup>2</sup>と想定しています。鳩ヶ谷庁舎 11,385 m<sup>2</sup>を積極的に有効活用することで、新庁舎建設規模を縮小し、建設費抑制を前提に計画をすすめるべきです。

表 - 1 新庁舎計画と現在の庁舎の延床面積 (単位: m<sup>2</sup>)

新庁舎計画		現在の庁舎	
新 庁 舎	40,000	本庁舎	11,966
		分庁舎(5ヶ所)の合計	8,303
		鳩ヶ谷庁舎	11,385
		合計	31,654

\* 小数点以下切り捨て。尚、第4回審議会で、鳩ヶ谷庁舎に(検討として)消防本部事務機能、保健所機能を入居する案が示された。(審議会資料より)

- ② 市民は、市実施『新庁舎に係る市民アンケート』の結果からも、便利な窓口や建設費の軽減を求めています。(表 - 2) 支所や駅前行政センターの利用者は多く、また、支所の取り扱い業務についても、多くの市民が改善を望んでいます。(表 - 3)

1. 1つの窓口でできるだけすべての用事を済ませることができること……………	784件 (46.6)
2. 高齢者や障がい者やお子様ずれの方など、 誰にとっても利用しやすい庁舎であること……………	671件 (39.8)
3. 建設費が過大にならないこと……………	639件 (37.9)
4. 災害時でも行政サービスを維持できる防災性能の高い庁舎であること…	616件 (36.6)
5. 維持管理費用が過大にならないこと……………	574件 (34.1)

表-3 支所で必要と思う業務

意見の区分	意見数	意見内容・必要と思われる業務内容	件数
支所で取り扱ってほしい業務	109	パスポートの申請・交付	41
		子育て・教育関連業務(施設等の申請、相談等)	24
		介護に関わる業務(介護保険申請、相談等)	19
		相談窓口の充実(相談可能な部課所の設置等)	17
		原付バイクなどの登録、ナンバー交付	8
業務の一部を支所で取り扱っているが、(さらに)やってほしい必要な業務	68	福祉に関わる業務(申請、相談等)	22
		税金関係業務(納付、確定申告、相談等)	20
		健康保険関係業務(届出、高額療養費申請、相談等)	10
		高齢者関連業務(ことぶき証などの申請、相談等)	7
		障がい者に関わる業務(手帳申請、手続き、相談等)	6
		年金関連業務(納付、相談等)	3
支所機能は現状で良い	54	現状維持で良い(十分である、問題ないなど)	54
本庁と同様の機能	34	本庁と同様の機能(全ての手続き・申請が可能)	34

\*新庁舎に係る市民アンケート結果 問11(自由記載)をまとめたもの。意見総数は356件で、支所で既に取り扱っている業務、設備充実等の意見の記載は除きました。(審議会資料より)

とりわけ、利用する機会の多い場所（窓口）として新郷、神根、安行、戸塚、各市民は、「支所を利用する」が70～80%、「市役所を利用する」は約10%台でした。市役所に近い青木、南平地域でも30%台です。

市役所から遠方の北部・東部地域は身近かにある支所を多くの市民が利用している実態と市民生活に係る手続き・申請こそ各支所で済むように求めていることは、このデータからも明らかです。川口市のほぼ中央に位置する鳩ヶ谷庁舎を、ただちに総合支所として有効活用すべきで、各支所の窓口業務の抜本的拡大・充実を図る必要があります。そのことは、また、新庁舎建設規模の縮小に繋がると考えます。

③ 市立高校三校の統合・新設、赤山火葬施設等の建設、新庁舎建設の三大事業が計画され、その費用は合計で約500億円といわれ、市みずからも、「厳しい財政状況が予想されるなかでの新庁舎建設」と説明し、概略建設費（什器備品費、移転費等一切含め）は195億円～249億円としています。建設費高騰がさげられるなか、建設費抑制を念頭に置いた建設計画を進めるべきと考えます。

④ 前述の概略建設費の54億円の差は、駐車場（公用・来客車500台、延床面積15,000㎡〔駐車場は新庁舎延床面積40,000㎡に含まず〕）を地下階に設けるか地上階での立体にするかの違いと、説明されています。駐車場139台分を有する鳩ヶ谷庁舎を有効活用することで、建設費の大幅削減を実行すべきです。

以 上